

インターネット自然研究所バージョンアップ事業費

64百万円(59百万円)

自然環境局自然環境計画課

1. 事業の概要

環境省では、平成13年度より、自然情報を幅広く提供し、自然環境学習の教材として役立つ情報システム兼ホームページ「インターネット自然研究所」を運用しており、現在毎月約100万件のアクセスがあるなど好評を得ている。

平成18年度は、サーバなどのシステム機器を高速・高容量回線に接続し、より快適な利用環境を国民に提供する。

また、サーバなどのシステム機器や全国各地に設置した固定カメラの保守点検を行い、インターネット自然研究所の適正な維持に努める。

2. 事業計画

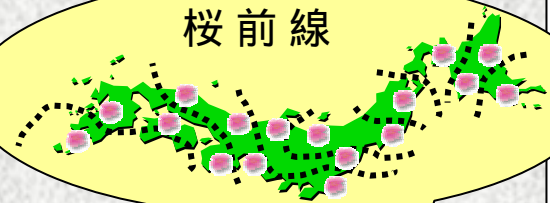
事業内容	平成17年	平成18年	平成19年	以降
高速・高容量回線への接続				
自然環境学習用コンテンツの追加及びシステムの改良				
維持管理費				

3. 施策の効果

バージョンアップを実施することにより、利用者がさらに増加し、普及啓発や環境教育・環境学習の推進に貢献する。

インターネット自然研究所の概要

桜前線

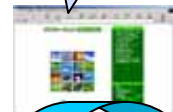


パソコン

家庭
学校で



情報を見る



インターネット自然研究所
ホームページ

<http://www.sizenken.biodic.go.jp>

ライブ映像の提供

各地の国立公園の風景、
野生生物のライブ映像の提供

多様な自然情報の提供

RDB図鑑、猛禽類図鑑、国立
公園の最新利用情報、水辺の
自然を紹介する「みずが島」等

いきもの前線リアルタイム調査

桜前線、田植え前線など
生物季節に関する利用者から
の投稿情報の集計と公表

自然情報セルフガイド

次世代携帯電話、GPSの
活用による自然情報セルフ
ガイドシステムの開発

インターネット

投稿する



生物多様性センター（サーバ）

固定カメラによる画像収集

国立公園の風景



尾瀬



固定カメラ



タンチョウ

野生動物の姿

電話回線
衛星回線

屋外
ウィールドで

携帯端末



ビジター
センターで

大画面で迫力あるよ



マルチビジョン